

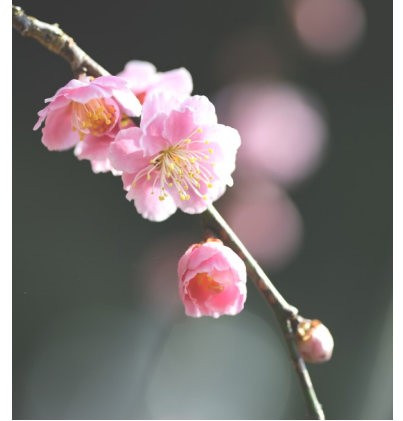
京都たんたんたより

1月号
発行日 2013.1.1

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

ハイライト:

- NPOからPR (NPO法人 京丹後コミュニティ放送)
- 京都北部からの発信を考える
- つねよし百貨店再開～東田一馬さんにその想いを聞く～



琴滝 冬ほたる
NPO法人 丹波未来研究会に
より、今年は12月7日から開催

イベント情報・セミナー情報 詳細は直接お問い合わせください!

<1月以降のイベント>

● NPOのための実務基礎講座(各種届・登記・税務・労務編)

日時: 2月1日(金) 18:00~21:00

参加費: 無料

会場: 福知山市民会館35号室

概要: 京都府・法務局・税務署などへの申請・届出・登記・報告について、1年間の流れやポイントなどを学びます。

講師: NPO法人 京都NPOセンター 西田 洋之様

お問い合わせ先: 0773-45-3507 (担当: 森田)

※ ぜひこの機会にあなたのNPOの労務管理を見直しましょう!

● 里山交流会 ～三和編: 里山発信力をUPしよう!!～

日時: 2月15日(金) 13:30~17:00

参加費: 無料

会場: 三和荘

概要: ●里山プラットフォーム設立総会(里山プラットフォーム主催)

●つねよし百貨店 東田一馬様による講演

「つねよし百貨店から見えてきた地域」

～地域のコンテンツをかたちに～

●三和活性化協議会からひと言

●グループワーク「地域からお金のたまごを生み出そう!」

主催: NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

協力: NPO法人 丹波・みわ

お問い合わせ先: 0773-45-3507 (担当: 森田)

※ この交流会を通して、里山の様々な課題を共有し、打開策を互いに学び合えるような場になればと思っています。

※ 里山の活性化にご興味のある方ならだれでも参加していただけます。出来れば事前にご連絡下さいね!

目次

イベント・セミナー情報 1

NPOからPR 2
FMたんご

京都北部からの発信を
考える 2

つねよし百貨店再開～
東田一馬さんにその想
いを聞く～ 3

京都丹波・丹後ネット 4
ワークよりお知らせ

とっておきご紹介 4
～白杉酒造～

丹後王国

丹後地方には大小6000
〇基もの古墳があり、その内
最大のもは網野町の銚子山
古墳で全長198メートルの
前方後円墳である。その他に
も全長が100メートルを超
える古墳が幾つも発見され
ている。また奈良時代に隆盛を
見た、最古の鉄製コンビナー
ト遺跡や弥生時代の遠所遺跡
も発見されている。他にも弥
栄町の奈具岡遺跡は最古の玉
造り工肩だと言われている。
このように大陸や半島、北
九州や他の日本海側との交流
を窺わせる豊富な副葬品など
から確かに丹後王国が存在し
たのではないかと思われてい
る。実にロマンを感じる話で
はないだろうか。

NPOからPR① FMたんご

FMたんごは平成16年に起こった台風23号による被害を教訓に、災害時にも地域に根づいた情報を発信できる手段として平成21年6月に開局しました。

メディアの仕事は全く未経験のスタッフが集まって開局しましたが、運営していく中でコミュニティ放送が人と人とのつながりを作っていくツールの役割となり地域力の原動力になる事に気づき、局に関わるボランティア間でつくるコミュニティが放送を通じて地域



のコミュニティを作り上げ更には他のメディアの間ともコミュニティを作り上げることを目指しています。また従来のマスメディアのように局のスタッフが情報を発信するだけでなく地元の人々が参加することでその人たちの持つ活きた情報を発信することができる場所を提供する役割も担っていると考えます。

このように地域間のネットワークを作っていくことが後に災害時にも地域に有益な情報を発信する「役に立つ放送局」として成り立つことができると考えます。

住所 京丹後市峰山町丹波825-1 (今田 弘一理事長)

TEL 0772-62-7941

<取材を通してひと言>

「コミュニティ放送は誰のものか？」と聞かれたことがあります。台風23号の被害を教訓に地域の人達が立ち上げたFM丹後をみればその答えが見えてくるのではないのでしょうか。

地域の人が自分たちの為に作ったFM局だからこそ、災害時に役立つだけでなく、地域の人たちみんなが楽しめ、しかも必要と思えるような放送を自分たちで考え、発信して行って欲しいと思いました。しかし財政基盤は厳しく、行政の援助も年々減っていると聞いています。そんな状況でもファンを増やし他のメディアとも協働していこうとしている姿に感銘を受けました。

京都北部からの情報発信を考える

情報発信に苦勞しているNPOや地域は多いと思います。それでも今はインターネットを活用することにより、地域の団体や個人であっても容易に情報を発信することが出来るようになりました。インターネットが普及する前は新聞やテレビ等のマスメディアに頼る事しかできなかった事を考えれば格段の進歩を遂げていると言えるのではないのでしょうか。

それでも地域の団体や個人が情報を納得いく形で発信していくには、幾つものハードルもあるし限界もあります。

現在京都府北部には3つのコミュニティFM局があります、また京都府内には他にも3つの局が存在し、またインターネット放送局や地元新聞社、フリーペーパーなどがあり、これらを有効に活用すれば自分達の地域だけではなく、他の地域にも情報を発信できる仕組みが出来るのではないのでしょうか。

しかし情報を発信する側も上手に情報を伝える工夫をしていかななくてはなりません。また文字だけではなく、写真や映像も大事になってきます。もちろん言葉で伝える工夫も必要になってきます。

NPOは会員にサービスを提供して満足してもらえるためだけにあるものではありません。何らかのミッションを持ち地域に貢献する事こそが重要です。その為には情報発信は欠かせません。これからは講座や交流会を通じて情報発信の重要性をアピールし、京都北部の良さを発信するお手伝いができればと思っています。

つねよし百貨店再開～東田一馬さんにその想いを聞く～

J A支所撤退後に地域経済とコミュニティの拠点として設立され全国的にも注目された常吉村営百貨店。常吉地区は約500人が暮らし、高齢化率は約35%。最も近いスーパーまで自転車で約30分かかる過疎地域である。

今年8月には前社長大木さんの健康上の理由などから一時閉鎖が決まったが、11月1日に3カ月ぶりに再開。運営母体となる実行委員会を作り、「つねよし百貨店」の名で新たなスタートを切った。経営を担うのはボランティアとして運営に携わってきた東田一馬さんと真希さんご夫妻。

一馬さんはIT系の仕事に携わり、東京やアメリカのシリコンバレーなどでも活躍してきたいわば超エリート。2009年に農水省の事業でここ常吉村営百貨店にボランティアとして参加。運営を引き受けた理由は？と尋ねると、特に田舎に興味があったわけではない…との回答。当初はITという分野をひととおり経験する中で、リアルにコンテンツと結び付けたIT活用を行ってみたいという思いがあったとか…しかし今ではこの地域の面白さがわかるようになったと語ってくれた。実行委員会の代表には真希さんが就き、一馬さんがサポートする。

以前と同じように雑貨も並べる一方、農家から新鮮な野菜を仕入れて委託販売する。また地元の店と共いうどんや惣菜などを食べ方などを提案しながら販売。客どうしが会話を楽しんだり子どもが遊んだりできるスペースも新たに設けた。府の事業で3人を雇用し、接客にあたる。

店には小学生が作ったというマフラーが置かれ、また、片隅には鹿の角。取材を終えて店の品を見ていると、惣菜（パリパリ漬け…生姜の効いた大根の漬物）を持った女性が来店。味見させていただくとその美味しさに驚いた。まだ商品化されていなかったこの惣菜は、私たちが第一号の客となり、その場で値段が付いた。さらにガラスケースには、近くの人気製麺所が作ったうどんを、昔からの湯がかずに食べるというこのあたりの風習にならい、お客さんが作って食べるためにドンブリバチが並んでいる。

私は他にさりげなく置かれていた醤油麴と味噌を購入。うどんや惣菜は人気のため、午後には売り切れのことも多いという。

つまり、ここつねよし百貨店は品物を売るだけではなく、まさにコンテンツ（人・ものなどさまざま）とコンテンツが出会う場である。

一馬さんは「経営はもちろん厳しいが、地域の人財というコンテンツをその人自身が発信できるような形を考えていきたい。そしていろんな世代の住民が時には消費者、時には生産・販売者として共に作り上げていくモデルにしたい」と今後の抱負を語ってくれた。

今後のつねよし百貨店がどう変化していくのか…とても楽しみである。

「つねよし百貨店」は火曜が定休で、営業は午前10時から午後6時まで。



NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワークからひと言。

私たちはNPO法人だからこそ出来る新たなネットワーク作りを京都府の協力を得ながら実現していきたいと思っています。

また、IT（フェイスブックの使い方・活用の仕方 HP・ブログの作成・更新など）は何人かが集まれば実施致しますので、お気軽にご相談ください。（出張相談もOK、料金は無料です）

〒620-0052

福知山市昭和町77番地

電話・FAX 0773-45-3507

Email: tantan@kyoto-tantan.net

ホームページもご覧ください

<http://www.kyoto-tantan.net/>

企業・大学・行政と連携して、地域の活性化を実現しましょう！！

編集後記

平成25年を迎えてまずは「明けましておめでとうございます」。今年もNPOの皆様に役に立てるような講座や交流会を開いていきたいと意気こんでおりますのでどうぞ宜しくお願いします。

京都たんたん日よりでは、NPO等団体様のご紹介、素敵なお店、素敵な風景などを募集しておりますとともに、記事に掲載の団体様とのコーディネートも考えております。当NPOまで是非ご連絡ください。

京都丹波・丹後 とっておきのご紹介

素敵なお店&素敵な風景と出会える場所

今回のテーマは丹後！！京丹後市で出会った素敵な酒蔵を紹介します。

白杉酒造（今なら冬季限定の新酒があるかも・・・）

酒造りの神である、大宮売神（あめのうずめの神）を祀る神社のすぐ側で、安永6年（1777年）から今日まで、丹後を代表する地酒を造り続けている老舗。

お酒の一滴一滴に杜氏の想いと白杉酒造の歴史がこめられています。

お酒に使うお米は地元農家が丹精込めた丹後米にこだわり、仕込みの水は超軟水、ここに杜氏の心があわさり、柔らかな口当たりの辛口日本酒ができていきます。

私の好むお酒は料理の良さを際立たせる“名わき役”。

ここ白杉酒造のお酒は、料理と日本酒の相性が抜群で、その素晴らしさに感動を覚えます。

酒蔵の中にはカフェスペースもあり、

お酒を買いに行ったときに、カフェでちょっとひと休み…
というのはいかがでしょう。。

とにかく、お酒を愛する方には絶対おすすめ！！

住所：京丹後市大宮町周枳954

TEL 0772-64-2101 FAX 0772-64-2154

